

まいりゅう リポート

龍ヶ崎市議会だより

vol.212
2025年2月

龍ヶ崎市 二十歳のつどい

— 特集 —

市民と議会の
意見交換会 2



(表紙) 龍ヶ崎市二十歳のつどい 運営委員のみなさん (令和7年1月12日)

令和6年度 市民と議会の意見交換会

令和6年11月16日、4か所のコミュニティセンター（松葉、城ノ内、川原代、龍ヶ崎西）において、「令和6年度市民と議会の意見交換会」を開催しました。

議員から、「子育て支援と人口減少問題」についての報告を行った後、参加者の皆様から貴重なご意見をお寄せいただきました。

いただいたご意見は今後の議会活動に活かしながら、今後も引き続き皆様からのご意見を承れるような機会を設けてまいります。



松葉コミュニティセンター

近くに良い就職先がないため、
大学を卒業した後就職で戻ってこないのでは。
市として、産業誘致・商業誘致をしないと
人口は持たないと思う。

なぜ、給食費無償化ができないのか。
人口減少化社会では自治体間で
人を取り合ってる状況。
給食費無償化をしているところが
選ばれると思う。



子育て世帯にアンケートをとっているが、
子どもを産まない・結婚をしない選択を
している方への聞き取りも必要ではないか。
婚活を支援して結婚につなげている自治体も
あるので、ぜひ龍ヶ崎市でも取り組んでほしい。

市外・県外の子育て世帯に
龍ヶ崎市がきちんと
認知されていないと思う。

空き家は更地にした方が
売れやすいと思うので、
市として何らかの施策を
考えてほしい。

龍ヶ崎市の良いところを
もっとPRしてほしい。

リノベーションした空き家に
お試しで住んでもらうなど、
定住に結びつくことを
進めてもらいたい。

人口減少対策は必要だが、
今後人口が減り税収も減ってくる中で
市政をどうやって維持するかということも
一方では考えておく必要があると思う。

城ノ内コミュニティセンター

昨年半年間は給食費が無償化されていたのに今年度から有償になり、負担を感じる。給食費以外にも学校の教材費の負担が大きい。

公園の除草回数を増やしつつ、草刈りの依頼にすぐに対応してほしい。

駅名改称や森林公園を検証してほしい。



給食無償化は国がやることだが、現状そうっていないので、自治体で進めてほしい。

龍ヶ崎市にはコミュニティセンター以外に集まれる場所がない。

立派なものではなくてよいので、児童館は必要。地域にそのような場所ができれば、本やCDの提供など地域で協力できることもある。

川原代コミュニティセンター

若者世代が龍ヶ崎市に定住しない、流出していることにどう対処するのか。

市主催の結婚相談会は、参加者が多いので、続けてほしい。

さんさん館は4歳になったら利用できず、市内には遊ぶところがなくなる。もっと人を増やして子どもが安全に遊べるような環境を作るべきだと思う。



小・中学校の統廃合が増えてくると思うので、小・中学校を1つの義務教育学校にした方がよい。少人数学級や先生不足、部活動の人数不足の問題などもなくなる。

地域の集まりは高齢者ばかりで、40代・50代の方は出てこない。

ゴミ拾いから治安を維持し、龍ヶ崎市に人を呼び込むことに繋がりたい。

商店街にも子ども
たちに関するにぎわいが
ほしい。

高砂市営住宅跡地に若い世
帯を居住させてはどうか。

安心して子どもを産み育てられる環境をつ
くるためには、工場を誘致するなど働く場
所が必要。今いる若い人を外へ出さないよ
うな方法をとるのが一番ではないかと思う。



保育園は働く家庭が対象であることは
わかるけれど、下の子の育休を取ると上
の子は幼稚園に転園となり、負担に感じる人
は多いのではないかな。

若い世代により収入が
増えるような取組を。

中学生ぐらいまで
サポートしてもらえる施設
の充実を。

子育て支援の先進地を視察しました



松戸市での視察の様子

令和6年4月より、少子化対策ワーキングチームを設置し、少子化対策や子育て支援施策について調査研究を行っています。この取組の中で、11月11日に子育て支援の先進地である「松戸市の子育て支援の取組」と、「のだしこども館（野田市）」を視察してまいりました。

松戸市は、「やさシティ、まつど。」をスローガンに、子育てしやすい街づくりを市の最重要施策のひとつに掲げ、幅広い子育て支援を実施しています。この度の視察では、令和8年度の本格導入を前に現在試験導入中の「誰でも通園制度」等について、お話を伺いました。

のだしこども館（野田市）は、「さまざまな子どもたちが集い、子どもの成長に必要な遊びを通して学べる場」「保護者同士が安心して気軽に交流や相談ができる場」「子どもたちの体験活動を市民が支え、多世代の交流が図れる場」として、令和4年10月にオープンしました。

屋外には、噴水広場や遊具、芝生広場、屋内には、プレイルーム、音楽スタジオ、調理コーナー、パソコンコーナー、創作コーナー等があり、18歳までの児童生徒や保護者の交流の場となっています。



のだしこども館の外観

「龍ヶ崎市における少子化対策に関する提言」 を提出しました

龍ヶ崎市議会では、令和6年4月より、全議員で構成する「少子化対策ワーキングチーム」を設置し、少子化対策や子育て支援施策についての調査研究を行ってまいりました。

流通経済大学共創社会学部の佐藤純子教授による講演、龍ヶ崎市役所人口問題対策室や子育て支援の担当職員との意見交換、子育て世帯を対象としたアンケート調査などを実施し、龍ヶ崎市議会として提言をとりまとめ、令和6年10月16日、龍ヶ崎市議会から萩原市長に対し「龍ヶ崎市における少子化対策に関する提言」を提出しました。

今後も、国や県、龍ヶ崎市の動向を注視しつつ、さらに調査研究を重ねてまいります。



龍ヶ崎市における少子化対策に関する提言事項

○妊娠から出産、子どもが成長するまで継続した子育て支援を中長期的な視点をもって推進すること

【取組例】

- ・ 訪問支援の充実
- ・ 障がいのある子どもへの支援
- ・ さんさん館の土日開館の検討
- ・ ファミリーサポートセンター事業、リフレッシュ保育事業の拡充の検討

○こども家庭センターの設置にあたっては、母子保健機能と児童福祉機能の一体的支援を効果的に実施できるよう運営の充実を図ること

【取組例】

- ・ 相談窓口のワンストップ化による相談体制の充実
- ・ 情報の一元化による、児童虐待予防をはじめとした様々な子育て支援の一体的な提供体制の確保
- ・ 関係機関（地域、学校、医療機関など）との連携による包括的な支援ネットワークの構築
- ・ 利用者やその家族の意見聴取によるサービスの改善や新たなニーズへの対応

○子どもの居場所をさらに充実させるため、新たな拠点の整備を検討すること

【取組例】

- ・ 0歳から18歳までのすべての子どもが安全に安心して過ごせる居場所の設置
- ・ 子どもや若者、保護者の相談体制の充実
- ・ 子どもと若者が交流できる機会の創出
- ・ 親同士が交流し学び合うための学習プログラムの検討

本会議

ダイジェスト Digest

審議された主な議案の内容と、本会議で行われた議案に対する質疑や討論の一部について掲載しています。議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を次ページに掲載しています。

第4回定例会（12月）

◆議案第1号

龍ヶ崎市森林公園維持整備基金条例について

基金を設置することにより、龍ヶ崎市森林公園の施設の維持、整備を計画的かつ適切に行っていくことなどに必要となる費用を確保するため、条例を制定するものです。

◆議案第3号

龍ヶ崎市立学校設置条例の一部を改正する条例について

令和9年4月に開校を予定している長山中学校区の義務教育学校について、仮称としている名称を「北竜台学園」と定めるため、条例を改正するものです。

◆議案第6号

龍ヶ崎市さんさん館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

令和7年4月からさんさん館の「子育て支援センター」を平日に加えて毎週土曜日の午前中も利用可能とし、その利用機会の拡大を図るため、改正を行うものです。

◆議案第7号

龍ヶ崎市駅前こどもステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

本年度末をもって駅前こどもステーションの機能「送迎ステーション」を廃止し、令和7年4月から新たに「保育ルーム」を設置して児童の一時預かり事業を実施することにより、育児疲れ解消やお出かけなど、保護者のリフレッシュ機会の充実を図るため、改正を行うものです。

◆議案第9号

龍ヶ崎市立図書館に係る指定管理者の指定について

令和12年3月31日までの5年間に、指定管理者に「図書館流通センター・アビック共同事業体」を指定しようとするものです。

◎質疑

金剛寺議員 図書館流通センター・アビック共同事業体が評価された新たな提案の内容と現在の職員の継続雇用について伺います。

教育部長

新たな提案としては、移動図書館車、サブライナ商業施設と北竜台分館とのコラボレーションイベントの展開、電子図書館サービスの学校図書館向け拡充、カフェスペース設置があります。継続雇用については、龍ヶ崎市指定管理者選定委員会から、現在の職員を含め、市民の積極的な雇用に努める旨の意見を踏まえ、新旧指定管理者間での引継ぎの中で行われることになると考えております。

◆附帯決議案第1号

令和6年請願第4号 龍ヶ崎市立中小学校の学校給食費無償化を求める請願書に対する附帯決議

学校給食費無償化実現に向けて、次の意見を付するものです。

「学校給食費無償化を実施するためには、多くの財源が必要なことから、持続可能な行財政運営を確立することを念頭に置きながら、国や茨城県の動向を注視しつつ、恒久的な財源の確保を図ることにより、学校給食無償化の実現に向け検討を進めること。」

◎質疑

大野（誠）議員 恒久的な財源の確保を、どのような道筋で考えているかお尋ねします。

椎塚議員

執行部・県・国に意見を届けながら、財源を確保した上で無償化を進めていくというのが、我々議会の役目だと思いますので、そういう意味での附帯決議であるご理解いただければと思います。

◎討論

金剛寺議員 一般質問では国や県などの支援があるまでは無償化はできないという市長答弁でした。この請願は、国や県の制度を待っているのではなく、いつになるか分からないので、市独自で無償化して欲しいという趣旨であり、この附帯決議はそれに反する内容なので反対します。

岡部議員

積極的賛成でない方が附帯決議に賛成、という捉え方がされていますが、私は給食費無償化は市独自で優先してやるべきという考えの中で、そのためには恒久的な財源の確保、どこを削るのかも議論した上で、取り組んでいただきたいと思います。という思いで賛成します。



▲長山中学校は、令和9年度から「北竜台学園」として、小中一貫の義務教育学校となります

常任委員会

賛成

議論

議論

可決

第4回定例会においては、議案等の審査が3つの常任委員会（総務、文教福祉、都市経済）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について、掲載しています。

▼総務委員会

◆議案第13号

令和6年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第5号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

金剛寺委員

消防設備整備事業の備品購入費について、消防団の合併に伴い、消防車両1台分の購入費用を減額することですが、合併となる8分団の地域や人数などの詳細をお聞かせください。

防災安全課長

庄兵衛新田を管轄している8分団4部と、小通幸谷を管轄している8分団5部について、8-5の小通幸谷の方が8-4に吸収合併される形となります。人数については、8-4が7人、8-5が8人であり、これが統合されて15人体制となります。

▼文教福祉委員会

◆議案第3号

龍ヶ崎市立学校設置条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

杉野委員 北竜台学園の名称の決まり方と、学園という名称は一般的なのか教えてください。

教育総務課長 統合準備会で公募することとなり、公募した結果、北竜台の名がつく名称が多く、最終的に北竜台学園に決まりました。校名については、義務教育学校、学園、小中学校という名称が一般的です。

◆議案第6号

龍ヶ崎市さんさん館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

久米原委員

これまで土曜日を月に1回試験的に開館していたのですが、平日と比べての利用状況をお聞かせください。

こども家庭課長

平日と土曜日の利用者数は、ほぼ同様でしたが、土曜日はお父さんとお子さんの来館が多い傾向があります。

◆議案第7号

龍ヶ崎市駅前こどもステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例につ

いて

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

伊藤委員

これまでの利用状況を教えてください。

保育課長

今年度の送迎利用者に関しては、昨年度からの継続で13人、新規で5人の計18人。令和5年度の利用状況は開館日数が293日、利用者は延べ人数で、保護者が1414人、児童が1564人です。

◆議案第9号

龍ヶ崎市立図書館に係る指定管理者の指定について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

山崎委員

新たな指定管理者から提案された、移動図書館や図書館内カフェテリアというのはどのようなものでしょうか。

文化・生涯学習課長

移動図書館は軽トラックの荷台部分に書架を積んで、公園などの人が多く集まる所に赴くというもので、カフェテリアについては、図書館内にカップ式の自動販売機を設置して、コーヒー等を飲みながら図書の閲覧ができるよ

うにするものです。

▼都市経済委員会

◆議案第1号

龍ヶ崎市森林公園維持整備基金条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

後藤（敦）委員

基金を活用して、市民割引をすることは将来的には可能ですか。

道路公園課長

利用料の割引については、基金を活用できる可能性があります。

◆議案第11号

龍ヶ崎市市民活動センターに係る指定管理者の指定について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成で了承**しました。

藤木委員

市民活動団体が一堂に会し、意見を聞く場がないように感じたのですが、そのような場はありますか。

地域づくり推進課長

すべての団体にお声がけをしているかはわかりかねますが、年に一度、市民活動団体に意見を伺う交流会の場を設けています。



令和6年第4回定例会

(会期：12月4日～19日(16日間))

議案番号	件名	議決結果
議案	第1号 龍ヶ崎市森林公園維持整備基金条例について	全員賛成で可決
	第2号 龍ヶ崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第3号 龍ヶ崎市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第4号 龍ヶ崎市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第5号 龍ヶ崎市立保育所設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第6号 龍ヶ崎市さんさん館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第7号 龍ヶ崎市駅前こどもステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第8号 龍ヶ崎市保健センター設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第9号 龍ヶ崎市立図書館に係る指定管理者の指定について	全員賛成で可決
	第10号 龍ヶ崎市総合体育館(たつのごアリーナ)外16施設に係る指定管理者の指定について	全員賛成で可決
	第11号 龍ヶ崎市市民活動センターに係る指定管理者の指定について	全員賛成で可決
	第12号 龍ヶ崎市自転車等駐車場に係る指定管理者の指定について	全員賛成で可決
	第13号 令和6年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第5号)	全員賛成で可決
	第14号 令和6年度龍ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	全員賛成で可決
	第15号 令和6年度龍ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第16号 令和6年度龍ヶ崎市児童発達支援事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
	第17号 令和6年度龍ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	賛成多数で可決
	第18号 令和6年度龍ヶ崎市下水道事業会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
報告	第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和6年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第4号))	全員賛成で承認
	第2号 専決処分の承認を求めることについて(和解に関することについて)	全員賛成で承認

議案等番号	件名	議決結果
令和6年 請願第4号	龍ヶ崎市立小中学校の学校給食費無償化を求める請願書	全員賛成で採択
令和6年 陳情第1号	馴馬町日枝神社の樹木の調査を求める陳情書	賛成少数で不採択
附帯決議案 第1号	令和6年請願第4号 龍ヶ崎市立小中学校の学校給食費無償化を求める請願書に対する附帯決議	賛成多数で可決
意見書案第1号	学校給食費を無償化するための恒久的な財政措置を求める意見書	全員賛成で可決

※賛否が分かれた議案等（ 部分）に対する議員の態度については、下記に掲載しています
 ※請願、陳情、意見書の内容は、市議会ホームページに掲載しています

議案等に対する議員の賛否



※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています
 ※議長（油原議員）は採決に加わりません

○ = 賛成 × = 反対

議案番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																						
		賛成	反対	金剛寺	伊藤	藤木	櫻井	札野	大野(み)	久米原	山宮	石嶋	山村	加藤	岡部	山崎	後藤(光)	椎塚	油原	大竹	後藤(敦)	杉野	寺田	鴻巣	大野(誠)	
議17	可決	19	2	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳1	不採択	2	19	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
附1	可決	12	9	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	

意見書を提出しました

令和6年請願第4号の採択をうけ、その請願事項に基づき、龍ヶ崎市議会は、12月19日付けで下記の意見書を国（文部科学省をはじめとする関係省庁）及び茨城県に提出しました。

「学校給食費を無償化するための恒久的な財政措置を求める意見書」

（主な内容）

学校給食は、学校給食法に基づき実施され、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである。特に、義務教育課程では、日本全国平等な教育環境が求められる中で、教育の根幹に関わる学校給食制度について、自治体間の格差を生じさせることは問題である。

よって、教育の根幹に関わる学校給食制度に自治体間で格差が生じることが決してないよう、国及び茨城県の責任において学校給食費を無償化するための恒久的な財政措置を講じるよう強く要望する。



市政を問う

一般質問



一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたる、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。

一般質問において、質問者である議員が答弁者を指定しても、執行機関は拘束されません。

市内の遊休地について

札野 章俊 議員



議員 市民の相続問題に對して、どのような支援を行っているか教えてください。

総合政策部長 まちの魅力創造課空家対策室において助言などを行っています。また、空き家等を抑制する取組として、令和3年度より専門のアドバイザーによる生前整理講演会を開催していま

す。そのほか、家や土地の相続や処分など、不動産相談会を継続的に開催しております。

議員 沢山の市民が相談に来られているので、さらなる活動強化をお願いします。また、調整区域の相続説明会も推進すべきと考えます。ご検討をお願いいたします。

公共施設の跡地活用について

議員 学校はその地域の地理的・人口分布的中心にあるので、廃校する学校こそ地域に根差した施設に再活用すべきと考えます。

総務部長 立地や建物の状況などに応じ、仮に民間活用となる場合でも、地域からの要望があれば、地域コミュニティに資する取組を公募の条件とすることも可能です。

議員 学校はその地域の地理的・人口分布的中心にあるので、廃校する学校こそ地域に根差した施設に再活用すべきと考えます。今後、大宮、松葉、長山小学校の閉校が予定されていますが、龍ヶ崎市公共施設跡地活用方針に基づき、地域の皆様との対話を重ね、跡地活用を進めてまいります。

带状疱疹ワクチン助成について

山宮 留美子 議員



議員 带状疱疹ワクチンの助成制度については、公明党として議会で何度も取り上げ、予算要望書にも公費助成を訴え続けてきた結果、令和6年4月より、50歳以上を対象として、生ワクチンは4千円を上限として1回、不活化ワクチンは1万円を上限として2回が助成されることとなり、市民に大変喜ばれています。しかし令和7年4月か

ら、国の定期接種化の動きが出てきたことにより、補助対象年齢や、助成金額が変わる可能性も出てきます。市の助成に對する今後の考えをお示しくください。

高齢者等緊急通報システムの早期改善について

議員 未だにアナログの固定電話しか設置できない緊急通報システムの早期改善の見通しについてお示しください。

福祉部長 このシステムについてはNTTのアナログ回線及び、光回線に限った設置等の課題があり、システムの見直しを求め、システムの見直しを求める声が寄せられています。◆単身世帯の増加に對する市の取組について

防災減災の取組について

久米原 孝子 議員



議員 想定最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に予想される最も深い水深を示す想定浸水深表示の設置についてお伺いします。

市長 供給体制を整備していく中で、体制が十分でない地域などへの対処の方法として様々な方法と併せて検討を考えてまいります。

危機管理監 本市における設置箇所や設置に係る費用について検証を行っており、実施に向けた調整を進めています。

議員 街区公園の防災井戸設置についてお伺いします。

小中学校のトイレについて

議員 市内小・中学校トイレの洋式便座の暖房便座設置状況についてお伺いします。

教育部長 市立小・中学校の洋式トイレには、101か所に暖房便座を設置していますが、320か所で未設置となっております。トイレ環境の改善をする上での課題であると捉えています。

議員 寒い時期は冷たい便座では子どもたちの健康を考えたとしても心配も含め進めます。

議員 早急にできる取組として水拭きやアルコール除菌可能なクッション性のあるポリエチレンフォームの便座シートを設置してはいかがですか。

教育部長 今後順次、学校トイレの改修に取り組みますが工事完了までは所要の期間を要することから、衛生面に配慮された容易に設置可能な、議員ご提案の便座シートの検討も含め進めます。

市外病院への移送サービス 事業の要件緩和を求める

金剛寺 博 議員



議員 市外の病院への通院が大変との要望で、6月から開始された事業ですが、要件が要介護3以上となり利用出来ないとの声があり、現在の利用状況と要件緩和を求めます。

福祉部長 6月から11月で7名が19回利用。運転ボランティアは4名に留まっています。要件緩和をすると対象者が広がり、運転ボランティア、車両が不足する。まずはこの課題の解決が先決です。

災害関連死を生まない

避難所設営について問う

議員 能登半島地震では、11月の発表で関連死が直接死を上回り、避難所生活の改善が求められます。能登半島地震で問題となったタンボールベットの備蓄、避難所のレイアウトの準備、清潔で明るいトイレの準備についての現状は。

危機管理監 ダンボールベット180基備蓄、避難所レイアウト図は防災コンテナに配備しています。トイレは今後、明るい場所への設置、個室内の電池式ランタンや防犯ブザー設置等、環境整備に努めます。

議員 能登半島地震では、長期の断水で、生活用水の確保、入浴、洗濯なども課題となりましたが、これらの準備状況はどうですか。

危機管理監 生活用水の確保は防災井戸、耐震性貯水槽、水槽車など準備をしてみました。入浴、洗濯については民間温浴施設との災害協定、洗濯キットの備蓄やクリーニング事業者との協定締結の検討を行います。

母乳バンクの 認知度向上について

大野 みどり 議員



議員 母乳バンクとは、赤ちゃんを出産後ご自身のお子さんが必要とする以上に母乳が出るドナーより寄付していただいた母乳を、NICUの要請に応じて、ドナーミルクとして、早産1500グラム未満の極低出生体重児に提供する仕組みです。情報提供の取組として、母乳バンクに関するパンフレットを母子健康手帳配布時に併せて配布してはいかがでしょうか。

福祉部長 母子健康手帳交付時だけでなく、市公式ホームページ等を活用して、母乳バンクについて周知するとともに、母乳の提供を希望される場合のドナー登録の方法についても併せて周知してまいります。

リトルベビーと母親の支援について

議員 神奈川県は、2500グラム未満で生まれた低出生体重児、リトルベビーとその母親たちを支援する一環として、外支援助する一環として、出先で母乳の搾乳の必要性が生じて、「赤ちゃんがいけないのに」といった偏見から1人で授乳室を利用するのをためらう母親のために、搾乳できることを示すマークを作成しました。このマークを設置していただきたいと思いますが、見解は。

福祉部長 議員ご紹介の「搾乳できますマーク」が普及していくことで、母乳育児を多くの母親が続けやすくなるのが期待されます。今後、「搾乳できますマーク」を市内公共施設の授乳室入口に掲示し周知を行ってまいります。

松葉、長山小学校廃校後の 跡地利用について

藤木 妙子 議員



議員 管財課より「松葉小跡地に県の保健所移転決定」の知らせが、10月2日各市議会議員に送信されました。これについてお尋ねします。

総務部長 9月28日の説明会では151名の参加者があり、当日実施のアンケート103件中、保健所移転に反対1件、賛成10件でしたので一定のご理解を得たと判断しました。

議員 私も傍聴していましたが、参加住民の大多数は初めて聞く話でよく

市民パワーの街興し

議員 いがっぺ市が昨年より商店街ではなく、市役所駐車場での開催となったことについてお尋ねします。

市民経済部長 実行委員 会では、商店会加盟店の減少のため、負担軽減に

わからないとの反応に見えました。その後松葉地区協議会だよりでは「未知の感染症への懸念の払拭等」が要望として記載されています。今後地域住民の意見を充分汲み上げていただきたいと思います。



▲説明会では様々な意見が出されました

より市駐車場が提案されました。

議員 商店街の衰退と、市の歴史的遺産を活かさない行政問題等ありますが、市の発展のため今後も鋭意努力していただきたい。

農業支援の拡充について

後藤 光秀 議員



議員 県内では下妻市、銚田市、八千代町、つくばみらい市が（株）クボタと連携して、農機シェアリングサービスを行っている。高額な農機具を必要とする農家や短期間での使用が求められる際に、経済的に求められる際に、経済的にも有効で必要な時に利用できる農機具レンタルサービスは、市内では民間が行なっているものもある。本市でもこのような農

機シェアリングを展開してはどうかか。

市民経済部長 ご紹介のような新しいアプローチはコスト面での負担軽減が期待できると感じます。また、スポット的に活用できるサービスは、新品目にもチャレンジする機会に生かすので、他市の事例や農業者の意見を参考に取

公営キャンプ場について

議員 土地を活用することでキャンプのできる場所や自然が本市には沢山ある。龍ヶ岡公園を東に下った奥にテニスコートがあり、さらにその奥には破竹川が流れている。その隣接している土地はいまだ活用されていない空き地となっているが、そこで、バーベキューやキャンプのできるエリアとして開放してはどうか。

都市整備部長 煙やごみ、騒音等の問題も懸念されることから課題も多くございませう。龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030の施策の一つである大規模公園の活用において、その特徴を生かした魅力ある公園整備を進めてまいりますので、その中で調査研究してまいります。

不登校の児童・生徒に 暖かい支援を求める

伊藤 悦子 議員



議員 昨年度、全国の不登校の児童・生徒数は過去最多です。不登校の広がり、学校や社会が子どもにとって息苦しい場である表れです。市の現状と対策を伺います。

教育部長 病気による欠席を除き30日以上欠席数は、令和4年度は小学生が86人、中学生が158人、令和5年度は小学生が88人、中学生が141人です。支援は龍の子さわやか相談員、スクールの補助を求めます。

議員 フリースクールの利用料は文科科学省の調査で月約3万円です。市の補助を求めます。

教育部長 民間のフリースクールの公的援助は考えていませんが出席扱いとし、学校以外の学びの場として認めています。

議員 学びの場としての費用負担はすべきです。

地方自治法の改正について

議員 昨年の法改正は、各大臣の自治体への指示権の導入です。憲法で保障された地方自治体の本旨を侵害し兼ねず、戦争をする国づくりに地方自治体を動員する危惧が考えられます。市長の見解を伺います。

市長 今回の改正は、コロナウイルス感染症の危機に際しての背景があると認識しており、国の指示権による武力攻撃事態等への対応について、総務省は、事態対処法制に設けられ今回の改正に基づく関与は考えていないと明確に示しています。

地産地消の

まちづくりを目標して

大竹 昇 議員



議員 世界は、大気や海洋の平均気温の上昇や人口増の影響、将又病の流行や災害、紛争や貧困等で食料危機の中、茨城県を含め関東圏の食料自給率力口リー・生産額ベースについて伺いたい。

市民経済部長 食料自給率力口リーベースで茨城県・栃木県68%、群馬県34%、埼玉県13%、千葉県24%、東京都0%、神奈川県2%です。

議員 本市の農業生産物の種類と生産額について。
市民経済部長 令和4年米15億7千万円、野菜3億7千万円、イモ、豆類1億円、果物3千万円、畜産3億5千万円です。

議員 全国の生産額が多い市町村は、米は新潟市、イモ・野菜は銚田市、牛・豚は都城市で生産額が497億1千万円で、ふるさと納税が令和5年約194億円で全国1位、なお移

住者が3710人増です。持続可能な本市を鑑みSDGsにおける地産地消の役割は如何に。
市民経済部長 地産地消の取組は、目標2飢餓をゼロ、目標11住み続けられるまちづくり、目標12つくる責任、つかう責任、目標13気候変動に具体的な対策を、の重要な役割です。
議員 日本のフードマイレージは2016年のデータで約85万t・kmで先進国で一番高い。都心に近い当市の地積の約43%を占める山林・農地に対しての考え方を伺いたい。
市長 龍ヶ崎市は、都心へのアクセス・豊かな自然環境の中、地域での安定した消費の確保のため農業分野でのスマート農業への導入支援、山林や農地の保全や水源の涵養、景観の維持を市民・農業者・関係団体等と一体になり住みよいまちづくりを致します。

時代に合った消防団のあり方

岡部 賢士 議員



議員 消防機庫や詰所の維持管理について、市が状況をしっかりと把握した上で、市の負担で整備すべきと考えるが、見解を。

危機管理監 建物の費用まで市が負担することはないと解釈される裁判例がある。消防団は地域のサポートで維持・運営されていた部分もある。しかし、消防団と地域の関係性に変化が生じてきている現状を踏まえ、市として新たなサポートの手段を検討すべき時代にきているものと考ええる。

議員 活動に必要な整備、維持管理については、市が当然に負担すべき。団員数の激減が続いている今、本気で消防団を存続させたいと思うなら、こうした時代遅れなところからどんどん変えていくべき。

時代に合った活動、訓練、運営体制の見直し、

新制度導入など、思い切った改革が今、必要。まずは団員の声、想いを把握するため、アンケートなどで、特に若い世代の団員の声や、今の時代に合った意見を吸い上げていくことが必要であると思うが、見解を。
危機管理監 団員個人の率直な意見を把握する機会の創出は必要と考えている。時期や内容、その手法も含め、消防団本部とも調整していきたい。

議員 消防団の存続に関わる大切な時期にきている。今やらなければ！危機意識を持って、市が積極的に取組を始め、時代に合った改革を推し進めてほしい。地域の方々の声もしっかり把握した上で、地域とつまく連携し、地域の安全・安心に欠かせない組織として、消防団が永続的に活躍していくことを期待する。

より良いこともたちの環境

づくりと子育て支援について

後藤 敦志 議員



議員 保護者が負担する市内小中学校の教育費は

教育部長 小学校6年間で23・3万円、30・6万円、中学校3年間で30・3万円、33・2万円です。
議員 学用品無償化の取組に対するご見解を。

市長 一律無償化は国も負担するべきもので、現時点で学用品や教材等の無償化は考えていません。

議員 学童保育ルーム、夏休みに長時間教室での活動が続かないよう、体育館を利用することはできないでしょうか。
福祉部長 委託業者や学校と協議し、夏休みの体育館使用について検討してまいります。

議員 保育ルームの開所時間を午後7時まで延長できないでしょうか。
福祉部長 委託業者や保護者に対する調査により状況の把握を行い、開所

時間延長の必要性について検討してまいります。
議員 保育ルームの取得期間との整合性や、保育の必要性が高い児童の利用調整などを整理し、検討してまいります。

議員 学童保育ルーム、夏休みに長時間教室での活動が続かないよう、体育館を利用することはできないでしょうか。
福祉部長 委託業者や学校と協議し、夏休みの体育館使用について検討してまいります。

議員 学童保育ルーム、夏休みに長時間教室での活動が続かないよう、体育館を利用することはできないでしょうか。
福祉部長 委託業者や学校と協議し、夏休みの体育館使用について検討してまいります。

民間活力と地域をつないだ

「にぎわいのつくり」

山村 尚 議員



議員 多くの自治体では地方創生を目的に地域活力を活かした様々な取組が行われています。そして、それらの取組みによりまちににぎわいがつくり出されています。本市では、いがつぺ市、コロッケフェスティバル、龍ヶ崎竹灯籠アート、たつのこづレーパーク、ふれ愛広場、スポーツ・レクリエーションまつり等のイベントに多くの来場者があり、にぎわいがつくられています。一方、森林公園のリニューアルでは民間企業フォレストアドベンチャー龍ヶ崎が一部オープンし、にぎわいがつくりだされようとしています。民間企業が中心となって、団体、企業等と連携し、地域とつながりをもつ「官民連携による地域の活性化」を図っている例として鹿嶋市がご紹介します。当市では民間企業が中心となりパート

ナー企業の持つ知識やノウハウ、技術力等を活用し、多くの地域創生事業を進めています。にぎわいづくり、地域課題の解決に向け民間企業のもつアイデアや活力が必要と考えるかがかか。

総合政策部長 行政、民間のそれぞれがもつ「強み」を生かした相互協力が重要だと認識しています。

議員 これまで行われた様々なイベントは、一時的なにぎわいで終始しています。持続性あるにぎわいづくり、まちのもつ課題の解決には、民間企業が中核となり各組織を連携し、連携組織全体をまとめ、推進する力が必要ではないか。民間企業のもつ力、ネットワーク等を活用し、まちを活性化する、まちの未来が感じられるよう、中核となる組織の検討を進めてください。

特養待機102人

このまま放置するのか！

杉野 五郎 議員



議員 特養待機者が増え続け102人もおられる。中重度の要介護者は人手の助けなしでは生活が困難です。このまま放置ですか。在宅介護で我慢して下さい、民間の有料老人ホーム等に入所して下さいというのでしょうか。経済的に余裕がある高齢者の方たちだけではないのです。特養施設の整備は緊急性が高く優先すべき施策と考えます。市長はこうしたことについてどう認識されていますか。

その中でも特養は要介護度の高い高齢者の方の終の棲家ともなる大切な施設の一つと認識しております。102人の待機者の存在、これは次期計画の介護保険施設の整備における貴重なデータのの一つとして受け止められるものと考えています。

議員 市長には切羽詰まった問題として受け止めて頂きたかった。このままでは、向う5年近く特養は整備されません。高齢化率が高まる事によりして中重度の要介護者が増えるのは必然です。

市長 今後の少子高齢化は地域差が生じることが予測されます。本市における将来的な人口構成や高齢化のピークなどを予測し、介護サービス基盤の整備等の取組を推進したい。本市には特養のほか高齢者の方が入居する施設として有料老人ホーム、サ高住等があります。



▲特養の整備は待たなしです

掲載以外の質問項目
◆「財政収支見直し」(本年10月公表)をどう読み切るか

北電台センター地区への

出店者は決定したのか？

加藤 勉 議員



議員 1階にケーズデンキとワンダーグーが出店していたサブラスクエアD街区の建物(2階にはトイザらスが出店中)に足場が組まれ、外壁塗装工事が始まっています。新たなテナントとして入る事業者やオープン時期などが決定したのでしょうか。

総合政策部長 サブラスクエアを管理する(株)新都市ライフホールディングスに確認したところ、ケーズデンキとワンダーグーの閉店に伴い空き店舗となっていた1階フロアについては、新テナントが食品スーパー(株)ベルクに決定し、現在、出店に必要な大規模小売店舗立地法の手続きを進めていると報告を頂きましたが、具体的なオープン時期については、お答え出来る情報を持ち合わせておりません。

議員 サブラスクエアA街区に入居しているイ

トヨーカードが2月24日に閉店します。閉店後の新規出店が中々決まらない状態が続けば、現在出店中のテナントの撤退が相次ぐことが心配されます。イトヨーカード閉店後の動向について、最新の情報はあるのでしょうか。

総合政策部長 直近の状況では、1階については入居を希望する食品スーパーと調整を進めることで一定程度の絞り込みを行っており、また、2階については、数社に打診を行い、調整を進めていると伺っています。

議員 最後に提案ですが、センター地区への商業施設の誘致に当たっては、路線バスなどの公共交通が十分に確保されていることも重要ですので、サブラスクエアの管理会社と龍ヶ崎市の共同により、路線バス事業者への運行拡大の要望も行って頂きたい。

公立小中学校の給食費

無償化への取り組みについて

櫻井 速人 議員



議員 給食費無償化については以前より早期取組を提案しているが、関係部署内でこの議題についての進捗状況はいかがでしょうか。

教育部長 財源確保が課題であり、国、県の動向を注視してきたが、具体的方針が示されないため、茨城県市長会で国に対して早期実現の要望を行ったところでありません。

議員 給食費無償化については、市内で独自の署名活動も行われているが、ご存じでしょうか。市民の皆さんからも声が上がっています。頼もしい決断をお願いします。

市長 このことについて請願が提出されていることは承知している。

市民からの切実な声として重く受け止めているところであるが、実現には財源確保が課題となっ



▲多くの市民から給食費無償化を求める署名が集まりました

ており、すでに取り組んでいる市町村では状況により廃止や縮小を考へねばならないという声もあります。請願の内容等を踏まえながら現対応の継続と、国や県の動向を注視し要望活動をして参りたい。

掲載以外の質問項目

- ◆安心して暮らせるまちづくり 防犯カメラ設置や防犯対策について
- ◆スポーツでのまちの活性化に向けたスケートボードパーク設置について

印西く圏央道直結道路の

沿道まちづくり

椎塚 俊裕 議員



議員 美浦栄線バイパス整備において、沿道のまちづくり計画をお尋ねします。

都市整備部長

圏央道4車線化、それにアクセスする美浦栄線バイパスの整備実現は、本市の広域交通網へのアクセス性の向上、首都圏との時間距離の短縮、つくばの里工業団地周辺地区の開発促進、テナシヤルをさらに高めます。

市営住宅跡地利用

議員 旧高砂市営住宅跡地の、一刻も早い土地の有効活用を要望します。

総務部長

当該地は、市営住宅の用途を終えた後、他の公共用途での活用見込みがなかったことから、一部を当該地区の

団地及び周辺地区を産業拠点と位置づけ、区域の拡張等を検討し、地域経済を牽引する企業立地を推進するエリアとし、本バイパスの沿道となるスタジアムの東側エリアは、市街地縁辺部ゾーンに位置づけ、市街化区域での適地の有無や都市基盤の整備状況、周辺の土地利用状況等を踏まえ、都市計画制度等を活用に沿った土地利用を可能とするエリアとしています。

集会所用地として貸し出し、残りの土地については民間による活用を目指し、検討を進めてまいります。

高砂環境整備委員会からの要望もありますので、課題整理に向けて手法を検討します。

人口減少問題について

大野 誠一郎 議員



議員 龍ヶ崎市人口ビジョンによると、龍ヶ崎の2065年の目標人口は約5万9577人です。ただし、合計特殊出生率2.10を2050年から2065年までの15年間維持し続けた場合です。よほど努力に努力を重ねなければ達成できないと思います。人口の流出抑制、流入促進に関する取組について、お伺いします。

市長 本年5月に私が本部長となる人口問題対策推進本部と、その下部組織として3つのワーキング会議を設置し、少子化対策、女性活躍、定住促進と、それぞれのテーマを定め検討を進めています。また、本市の住環境や子育て環境の充実について、PR活動も展開しているところでは、議員 来年度から、新しい取組、あるいは拡充をして進めていただきたい。

牛久沼の水質保全について

議員 牛久沼の水質は、二十数年間改善されず、むしろ徐々に悪くなっています。その原因についてお伺いします。

市長 牛久沼流域での急速な都市化・人口増加に伴う外部負荷の増加、すなわち流入する汚濁負荷量であるCODが増加していること、また、流入河川の

「AED操作訓練」を実施しました



令和6年第4回定例会の開会日（12月4日）に、議場において「AED操作訓練」を実施しました。当日は、龍ヶ崎消防署より2人の消防職員にお越しいただき、胸部圧迫の方法や、AEDの操作方法について指導を受けました。

Youtube
龍ヶ崎市議会
チャンネル



▲日頃からの訓練がいざという時に生かせるように、今後も計画的に実施してまいります。



まちかどピックアップ

若者の門出を祝う「龍ヶ崎市二十歳のつどい」が、成人の日を前にした1月12日に大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）で開催されました。

当日は562人が出席し、第一部の記念式典では、代表者の抱負発表などが行われ、第二部のアトラクションでは、景品が当たるクイズ大会などが催されました。

旧友との再会を喜ぶとともに、夢や目標を抱いた若者たちの節目を祝う席にふさわしいつどいとなりました。



編集後記

今回の議会だよりでは、現在市議会で取り組んでいる「人口減少・少子化問題」と、その課題解決のための重要な方策である「子育て支援」に関する提言についてお伝えしました。市議会では、このテーマを全議員で調査研究し、市民アンケートや議会報告会・意見交換会を通じて多様な市民の皆様の声を伺っています。そこへいただいたご意見をもとに、現状の課題を深く掘り下げ、本市の実情に合った実効性のある政策提言を行ってまいります。

「市議会が市民の声を反映していると思いませんか」という問いに対し、多くの「思わない」という回答があったことから、市民の皆様に、市議会が市民の声を適切に反映し、議会の政策提言によって龍ヶ崎がもっと良くなると実感していただくために、市議会が一丸となって進めています。

市民の皆様の声が議会の原動力です。市民の声がまちの未来を創る力になります。これからも貴重なご意見をお寄せいただき、龍ヶ崎をもっと良くしてまいりますよ！

後藤 敦志 記



次の議会

令和7年第1回定例会は

2月27日

開会予定です

広報委員会

委員長	後藤 敦志
副委員長	後藤 光秀
委員	金剛寺 博
委員	藤木 妙子
委員	櫻井 速人
委員	加藤 勉